

インタビュー  
しました!

にし ざき のぶ ひろ  
氏 伸 洋 西 崎  
一軍マネージャー



横浜DeNAベイスターズ



選手と共に歩み  
チームを支える

プロフィール  
高校卒業後、2001年横浜ベイスターズに入団。現役引退後、ファームマネージャーを経て、現在は一軍マネージャーを務めている。持ち前の明るい性格でムードメーカー的存在。

マネージャー業務について

マネージャー業務は色々なものがあります。主な業務としては、チームの年間スケジュールに合わせた、宿泊先や交通手段等の調整があり、チームにとってより良く、選手に負担が一番少ないように考えます。この準備の段階が一番大切で、スケジュールが整えば、スムーズに進めることができます。ただ、突発的な事でスケジュールに変更が発生した場合は大変です。

大切にしていることは

選手とのコミュニケーションですね。選手との距離感を縮めていくことを大事にしています。私は選手と年が近い分、話しやすく、

選手に注意することもあります

球団側とのパイプ役を担っていると思います。選手一人ひとりの要望を聞いて、より良い環境づくりのためにそれを依頼していく。一つ一つのチームづくりという一つの目標に向かい、必要なものに対応していくことが大事になります。私たちが歩み寄り、選手たちとの信頼関係を築いていくことによって、なかなか言い出せない要望も聞き出せていると思います。でも、これはマネージャー業務というより、私の性格ですかね。選手と寄り添っていくことが好きで、それによって選手たちが心を開いて、色々なことを話してくれるのはありがたいです。もちろん、選手に注意することもあります

これまでに印象に残ったことは

私たちがとって、「勝つためのチームづくり」はもちろん大事ですが、私たちが裏方の業務によって、選手たちがベストなパフォーマンスをグラウンド上で発揮してもらえることが大事だと思っています。そんな中、昨年、私はミスをしてしまいました。本来であれば、責められてもおかしくないはずが、選手たちがフォローしてくれました。あの時は、これまでやってきた選手たちとのコミュニケーションが間違っていないかった、周りもフォローしてくれるすごく良い関係性を



▲チームを支える裏方のヒーローたち

将来、プロ野球選手を目指す少年たちへ一言

今年入団した、宮城滝大選手は嘉手納町出身で、キャンプ中に行っている「野球教室」に参加していたそうです。野球教室に参加して目標ができ、実際に入団できたと語っていました。そういう事例もありますので、今回も野球教室に参加した子ども達には、ぜひ、目標を持って頑張ってもらいたいです。一度、球場へ足を運んでいただき、プロ野球の魅力を感じていただけたらうれしいです。

春季キャンプ  
関連イベント



横浜市中区交流会

横浜DeNAベイスターズの本拠地横浜市中区の少年野球チームとの交流は今年で15回目となります。写真は、市内少年野球チームとの交流試合後の歓迎会の様子。



キャンプ激励式

キャンプ激励のため、松川市長がアトムホームスタジアム宜野湾を訪問しました。また、宜野湾友の会をはじめ各種団体より、特産品などの激励品を贈呈しました。



第9回グリーンコミュニティーin 宜野湾

「キャンプを南国の花で迎えよう」と、市内外の少年野球チームや関係団体の協力のもと花の植え付けを行い、キャンプ地である海浜公園は色鮮やかな花でいっぱいになりました。